

第4弾は 大手町リハビリテーション病院です!

2020年12月10日、今年度入職した新人さんの初年度発表会を行いました。

例年とは違い事業所のみでの開催となりましたが、人数が少ない分一人ひとりに対する時間を多く確保することができ、内容の濃い初年度発表となりました。

各々の新人さんの演題を、感想を添えてご紹介します♪



左大腿骨頸上骨折を呈した症例 ～荷重低下に対する段階的な介入～

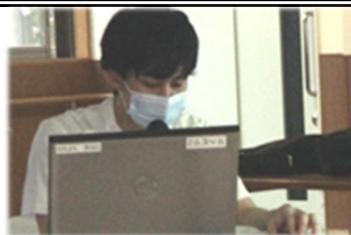
理学療法士 山邊 慶典

バランス能力へのアプローチや荷重恐怖感は他患者にも共通する部分があり、診療に活かすことができました。

高次脳機能障害を呈した症例独居生活を目指して

作業療法士 井上 享也

問題点を抽出してそこに対する難易度調整をしながらアプローチをすることの大切さを学びました。



ADL場面での左手の参加を獲得するために ～CI療法を用いてコーヒーが動機付けと報酬になった例～

作業療法士 磯貝 翔平

リハビリ中だけでなく1日の流れ365日の過ごし方に目を向けることが大切であることに気づき、自主トレーニングや余暇活動などから活動量の増加に繋げることができました。

超皮質性運動失語を呈した症例に対する 会話場面へのアプローチ

言語聴覚士 田尻 真帆

患者様の状態に合わせて定期的に評価を行い、問題点に合った根拠のあるリハビリを行うことの大切さを改めて感じました。



慢性心不全患者の在宅復帰に向けて

～再発予防に対する運動療法や家族指導～

理学療法士 松村 真斗

身体機能だけでなく退院後のADLやサービス、家族への関わり方も学ぶことが出来ました。